

総務文教常任委員会会議録

(閉会中 令和元年10月24日)

長 与 町 議 会

総務文教常任委員会会議録（閉会中）

本日の会議 令和元年10月24日

召集場所 長与町議会議場（第1委員会室）

出席委員

委員 長	河野 龍二	副委員長	金子 恵
委員	八木 亮三	委員	西田 健
委員	浦川 圭一	委員	安藤 克彦
委員	西岡 克之		

欠席委員

委員 内村 博法

職務のため出席した者

議会事務局長 谷本 圭介 参事 森本 陽子

本日の委員会に付した案件

所管事務調査(現地調査の質問事項について)

開 会 9時34分

散 会 10時05分

○委員長（河野龍二委員）

皆さん、おはようございます。ただいまより、総務文教常任委員会を開会いたします。内村委員は、先程お聞きしますと、免許証の切り替えで高齢者講習が今日だったということで、欠席の届け出をいただいております。あと、安藤委員については少し遅れるということで参加をされる予定です。定足数には達しておりますので、ただいまより委員会を開会いたします。本日は、そういう事情なんで、よろしく申し上げます。

本日は、所管事務調査で継続でずっと調査をしておりましたコミュニティの現状について、自治会現状について、自主防災組織について、人口減少対策について、ICTを利用したまちづくりの現状についての件を議題といたします。それで、先日から所管事務調査に基づいて行政視察を行うということを確認しておりました。そこで、事務局で対応していただきまして、お手元にある資料、事前に資料もお渡ししていたと思っておりますけれども、受け入れ先が確定しまして、この資料の中身どおり、東京都の立川市、山梨県の笛吹市、そして、埼玉県の三郷市。東京都の立川市については自治会を応援する条例ということで自治会の現状についてを調査し、山梨県の笛吹市については人口減少対策についての調査を行います。あと埼玉県の三郷市については自主防災組織の取組についてということで調査を行うように予定しております。それで、本日いただいた資料を見ていただければ分りやすいかなと思うんですけども総務文教常任委員会所管事務調査というところですね。既に、受け入れ先が決まった順から、事前に調査事項を挙げてきて欲しいということで、この分についてはちょっと委員会を開く予定が無かったもので、副委員長と相談しまして、調査事項を簡単に挙げさせていただいております。立川市議会については、「自治会を応援する条例」というのが制定されております。それに基づいて、条例制定前の自治会の状況はどうだったのか。制定の背景と経緯、あと制定後の効果と、今の自治会における課題点ということ。今後の自治会応援の展開と、自主防災組織の支援の内容ということで、事前の質問項目としては、これだけを上げさせていただいております。立川市については、これに市の概要もありますけど、人口は非常に、長与の数倍ある人口で、私も調べてみますと面積は長与町より非常に狭い面積で、その中に人口が密集してるということで、東京都心に近い市として発展してきた所で、それなりのこの自治会運営についても、非常にいろんな課題があるのかなというふうに思いますので、是非、いろいろホームページ等でも、先日資料もお渡しした部分がありましたよね。応援する条例ということで。カラーの分で。こういう条例を作っておりましたんで、是非、こうした中身も含めて、少し、事前の調査をしていただいで、活発な質問をしていただければと思います。あと、山梨県の笛吹市についても、事前に調査内容を知らせて欲しいということで、ここについても、調査事項で人口減少対策、移住、定住、これについては、これも事前にちょっと資料をお渡ししたと思うんですけども、これも笛吹市の定住取り組みということで、まち・ひと・しごと総合戦略の中の1つの課題として取り組んでるということで、前の資料で評価一覧表を付けさせていただいて

たと思うんですけども、この中で、サテライトオフィス等々運営してるということで、評価一覧は平成29年実績で出ているというふうな状況で、その部分も含めて今の人口減少対策の状況がどうかというところを調査していただければと思っております。中身としては、それに基づく調査内容項目を挙げさせていただいております。ここもホームページ等を見ても、非常に興味を惹きつけるホームページになっておりましたので、是非この部分でも事前に独自の調査をしていただければと思います。あと3日目の三郷市議会については自主防災組織の取組についてということで、これも資料を付けさせていただいたと思うんですけども、ここは防災組織が設立されて、昨年20周年を迎えているということで、様々な取組が表彰を受けている状況でした。特に感じたのは、独自のホームページを持っている。この資料にありますように三郷市自主防災組織連絡協議会という独自のホームページを持って、活動をアピールしてるというんですかね、推進しているという状況のようでしたので、特にこの関東近辺は、先日の台風被害などもありましたので、そういう部分ではこの自主防災組織がどういう役割を果たしてきたかという部分も、非常に興味があるところではないかなというふうに思いますので、これもまたできれば様々な資料に基づいて事前に調査をしていただければと思います。以上、1つは実際に質問していかないと分からないところもあると思いますし、行く前にこういうことを言うとあれですけども、少し期待が外れる場合もあるかもしれませんが、それはそれで受け入れていただいた所に感謝したいというふうに思いますので、それもまた1つの課題と捉えていただければと思います。以上、この3か所を調査いたしますので、よろしく願いいたします。皆さん方から、何か特にありますでしょうか。これまでの資料見て、感じてるところがあれば、意見交換をしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

1点だけ、関東の方で大きな災害が起こってるんですが、この3つの自治体について、その現状、被災の今状況に追われてるとか、そういう状況でないのか。そんなに大きな災害を受けてないんだということなのか。そこら辺の状況だけ教えていただければと。

○委員長（河野龍二委員）

私もちょっと気になって、局長に確認して欲しいとお願いしてたので、局長からも説明していただければと思います。

局長。

○議会事務局長（谷本圭介君）

おはようございます。視察先3件とも関東でしたので、とりあえずお電話を入れてみて、被災してないかということを確認いたしました。若干、場所によっては、市の中で被害があった所ありますけれども、全体的にはほとんど無いというような状況なので、予定どおりいらしてくださいということの返事をいただいております。

追加で、2日目の山梨県笛吹市から御連絡がありまして、もしかして、鉄道とか高速道路が破損して、通行止めとか一部片側通行とかそういうのを御心配されてませんかということで御連絡があったんですが、今週中、遅くとも今月中には間違いなく復旧しますので、通常どおりの予定でお越しくささいということで確認をいただいております。

○委員長（河野龍二委員）

確かに、非常に心配される場所だったと思うんですよ。被害が大きい中で、復旧作業中に我々が行くってというのが反って邪魔をする場合があるかもしれないので、そこはちょっと配慮して、お願いをした経緯があります。ほかに、中身について特にありませんでしょうか。

八木委員。

○委員（八木亮三委員）

私が他県への所管事務調査というのは先日の広報広聴委員会でのものが初めてだったので確認をしたいんですけども、先日の広報広聴のは、内容が議会の広報広聴活動に関する調査でしたので、3か所とも先方の市議会が視察先となりますけれども、今こちらの資料ですと、三郷市と笛吹市は「市議会」になっていて、立川市は「立川市」とだけ書いてあるんですが、これは向こうの市議会ではなくて、行政というか、役所の方が視察を受け入れてくれるということなんですか。

○委員長（河野龍二委員）

局長。

○議会議務局長（谷本圭介君）

申し訳ありません。1ページ目の東京都立川市と書いてありますけれども、これ立川市議会でごささいまして、3つの市とも窓口としては当然市議会の方が受けていただきまして、詳細に関しては執行部の方に同席して、詳しい説明をさせていただきたいということで、御準備をいただいております。

○委員長（河野龍二委員）

ほかにありませんでしょうか。中身については、また、時間がありますので、先程申しましたように、それぞれ自主的な調査をされて、質問の中身に加えていただければと思います。では行程について、事務局の方から少し説明をさせていただきますでしょうか。

局長。

○議会議務局長（谷本圭介君）

それでは行程について、大まかに説明をしたいと思ひます。横書きの分があるかと思ひますけれども、以前、お配りしたのものになるかと思ひますが、お手元ありますでしょうか。まず1日目11月13日ですけれども、長崎空港発の飛行機が8時35分発のANA662便ということで、若干早目なんですけれども、7時45分を目標に空港のANAのカウンター前辺りに集合をいただければと思ひております。羽田空港に着くのが10時15分ということで、それから京浜急行線て川崎に行つて、川崎から立川

に行くというような形になります。立川市議会は14時から15時30分、1時間半ということで、当初2時間お願いしてたんですけども、こちらの方がほかの行事等の予定で1時間半しか時間が取れませんということで、30分短縮の1時間半、お願いすることになっております。それが終わりましたら、新宿まで戻りまして、新宿のホテル、サンルートプラザ新宿という所に宿泊をする予定にしております。2日目14日木曜日ですが、これはちょうど宿泊するホテルのすぐそばにバスタ新宿というバスの高速バスのターミナルがございますので、そこから高速バスを利用して、山梨県の笛吹市の石和というバス停まで伺います。そこで降りまして、昼食をとったあとに、笛吹市議会の方に向かいます。ここが、実は合併をした市でございまして、市役所は本館なんですけど、議会事務局は別の旧町の建物になっておりますので、本館より20分ほど離れた場所になりますので、そこで所管事務調査をさせていただくということで、こちらはきっちり2時間OKということで御返事をいただいております。また帰りも高速バスで帰りまして、同じホテルに宿泊いたしますので、ホテルの方に大きな荷物等置いていただいて、簡単な書類とか筆記用具とか、そういったものを入れる手提げ等準備していただくと、身軽に行動ができるかと思えます。そして、3日目11月15日金曜日ですけども、朝がちょっと早目に出て、今度は埼玉県三郷市議会ということで、こちらも当初は2時間をお願いしてたんですけども、向こうもばたばたしている用事があるということで、1時間半ということで、10時から11時30分までお願いをする形になります。それが終わりましたら昼食を取りまして、羽田空港に行って長崎まで戻ってくるという形になっております。それで、念のために報告をしておきますが、今回、こちらの行政視察ですね。うちの森本参事が基本は随行という形で同行していただきます。3日間ともですね。山口議長と私が実は前日から東京に別件でおりますので、2日目の夕方に皆さんに合流して、所管事務調査の14日、15日の2日間は同行させていただいて、一緒に勉強させていただくというような予定にしておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（河野龍二委員）

議長と谷本局長が前日の12日議長会があつて、13日には同じホテルに来ているということなんで、14日、15日は同行して視察をするという形になっております。一応そういう形で進めていきたいと思っておりますので、今のところで何かありますでしょうか。また戻っても全然構いませんけども、なければ、ずっと所管事務調査の在り方というところで御意見が出てますので、この所管事務調査をしたあとも、調査事項についてそれぞれ調査報告は上げてもらいますけども、詳細な内容について、もう一度委員会を開いて、その調査を終結するかどうかという部分の確認の委員会を、もう一度開くように考えております。そこで、日程が13、14、15で行きますので、できれば11月25日の週にもう一度、この委員会を開会して、そこで調査の終了にするものなのか。続いて調査を行うものなのかというのも、今回は5つの項目で所管事務調査を行うというふうになってまして、それぞれ議論はしてきたんですけども、あとコミュニティの取組と、

I C T化の部分。これがお互い議論をただけで調査結果が、どういう形になるかっていうのは、まだ行政視察も入れてないもんでですね。その部分も含めて、その終了とするかどうかという部分も検討したいと思ひまして、もう一度、委員会を開会したいと。行政視察行ったあとにと思ってるんですけども、御意見はないでしょうか。

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

例えば今回行く内容が、特段本町がこうあるから、ここに聞いてきたらこうだったという関連してるようなものでもないんで、済んだあとの、また行政を呼んでというのは、逆にできないんじゃないかなとも思うし、そこは必要ないと思ひますし、委員長判断で報告書をまとめられれば、それを基に、ここだけで話をされれば良いんじゃないかなと思ひますが。

○委員長（河野龍二委員）

私も、調査の結果を、こういうまとめ方をしたいというふうな意味での確認の意味での委員会を開きたいと。所管を呼んでの委員会は今考えてはおりません。と言うのも、先に言っておきますけども、I C T化については前回から島原市議会が窓口のA I化を導入したという部分もありますんで、もし可能ならば、引き続きその所管事務調査の中で、そういう所がどういう状況なのかというのも、視察に行ってもいいかなというふうに思ってますので、そういう相談もちょっとできれば、この13、14、15が終わったあとの委員会で確認していければと思ひがあるので。だから、所管を呼んでの調査じゃなくて、委員会のまとめ報告で、まとめたら、例えば、この3つについては調査を終了するというふうな形の結論を出していくべきではないかなと思ひますので、そういう報告書にできればしたいと思ひますんでですね。そのための委員会をちょっと開きたいと思ひますので、できれば、よろしいでしょうか。皆さんの御意見ちょっとお伺いしたいと思ひますけど。よければ、ちょっと休憩に入ります。

（暫時休憩）

○委員長（河野龍二委員）

休憩を閉じて、委員会を再開いたします。

これで質疑なしと認めます。

本日の総務文教常任委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

（閉会 10時05分）